

鈴鹿亀山道路

- 整備効果

三重県 県土整備部
令和4年 3月

鈴鹿亀山地域の課題

1. 産業

鈴鹿亀山地域は、産業集積地にあるものの、高速道路へのアクセスに時間を要しています。優れた立地性を発揮できず、企業誘致の障害となりかねません。

2. 広域連携

新名神高速道路、東海環状自動車道などの広域的な道路ネットワークが整備されますが、鈴鹿亀山地域は、これらの広域的な道路ネットワークを十分に活かすことができない状況にあります。

3. 防災

南海トラフ地震発生時には、沿岸部で津波等による甚大な被害が想定されるなか、鈴鹿亀山地域周辺は、くしの「歯」となる強固な東西軸が存在しません。



鈴鹿亀山地域の課題に対し、以下の3点を目的として、企業活動を支え、災害時にも機能する経済的・効果的な道路ネットワークの早期実現を目指します。

1. 産業

課題

高速道路へのアクセスに時間を要している。

高速道路アクセス性の向上 事業の目的

日本有数のものづくり地域の産業を支える**道路基盤の充実**

2. 広域連携

課題

広域的な道路ネットワークを十分に活かすことができない。

広域ネットワークの活用 事業の目的

中部・近畿や県内の連携強化のため、**選択性のあるネットワークの確保**

3. 防災

課題

強固な東西軸が存在しない。

災害時における東西軸の確保 事業の目的

災害時にも社会経済活動を持続し、地域の持つポテンシャルを早期復元できる**道路機能の強化**

整備効果 = 高速道路へのアクセス性の向上 =

四日市東IC

現状	鈴鹿市街地内の大規模工場から高速道路へのアクセスに時間を要している
整備効果	高速道路インターチェンジからの15分圏域が拡大し、工業集積地域における高速道路への利便性が向上

◆高速道路ICの15分圏域の変化



亀山JCTから
企業集積地域内(★)まで

所要時間	
現況	26分
整備後	15分

**鈴鹿亀山道路
鈴鹿四日市道路
の整備で
11分短縮！**

**高速道路IC15分圏域の
拡大により、工業集積地
における高速道路への
速達性・定時性が向上**

高速道路ICからの15分圏域

- 現況 (Green)
- 整備後 (Pink)
- 鈴鹿市街地内の大規模工場 (Blue circle)

整備効果 = 交通安全性の向上 =

現状	中央道路沿線は、人口が密集し、工場も集積していることから、 生活交通と産業交通等が混在
整備効果	産業交通が、高速道路に接続する鈴鹿亀山道路へ転換し、 中央道路の産業交通が減少し、安全性が向上

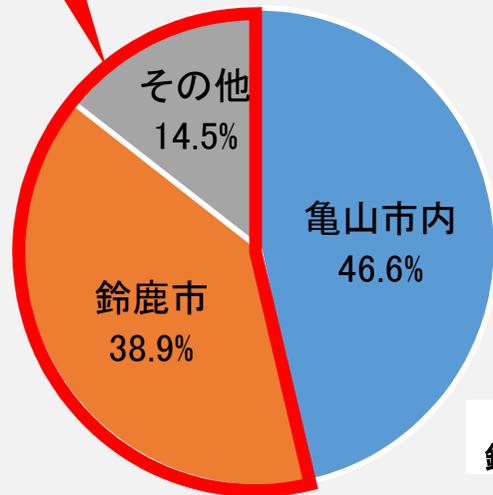


整備効果 二 救急病院への所要時間の短縮 二

現状	亀山市では、救急搬送者の53.4%が鈴鹿市等の市外へ搬送
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿中央総合病院等の市外の主な病院への所要時間が短縮。 ・鈴鹿中央総合病院からの10分圏域が拡大し、救急医療の質の向上

◆ 亀山市の救急搬送状況(H29)

亀山市の救急搬送者の53.4%が鈴鹿市等の市外へ搬送



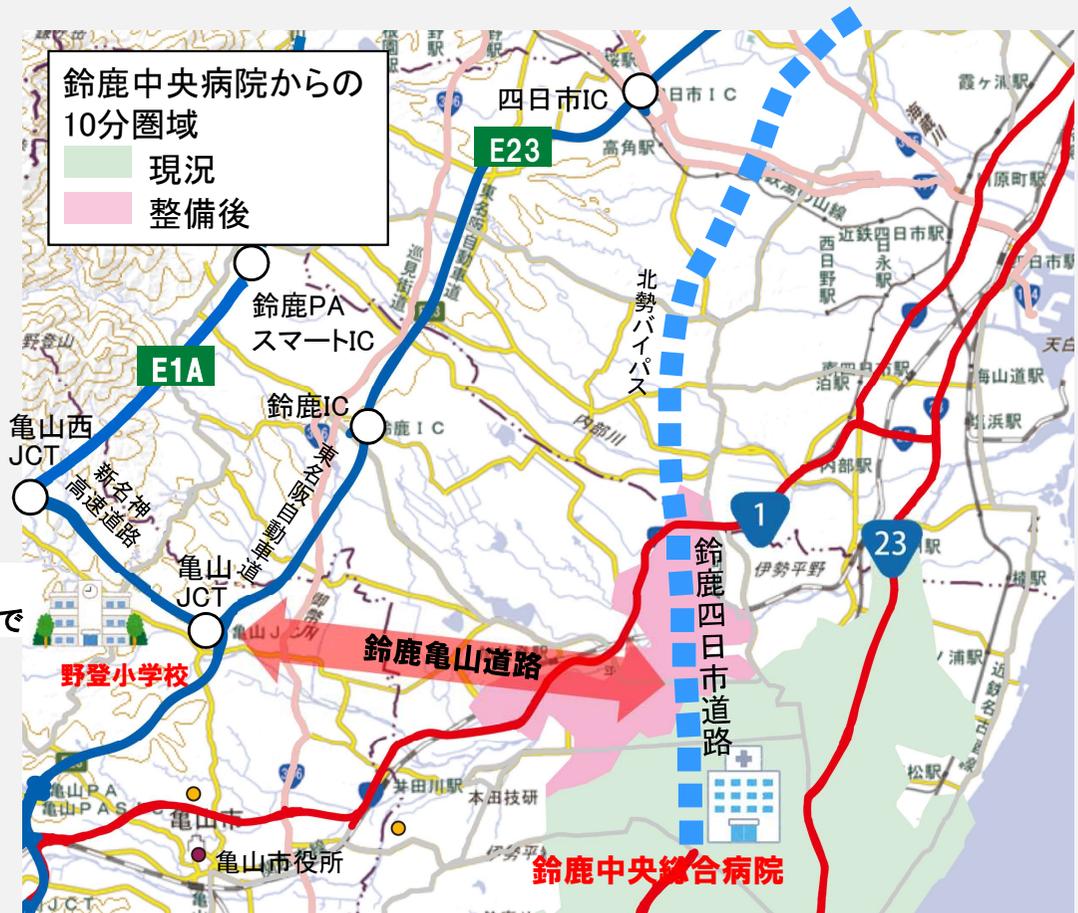
資料: 亀山市資料「火災と救急・救助の概要」

亀山市からの搬送先病院である鈴鹿中央総合病院への所要時間が8分短縮

野登小学校から
鈴鹿中央総合病院まで



◆ 鈴鹿中央総合病院からの10分圏域の変化



整備効果 = 防災機能の向上 =

現状	鈴鹿亀山地域に向かう <u>国道1号や23号は、津波浸水による寸断の恐れ</u>
整備効果	<u>高速道路から沿岸部に向かう新たなネットワークが形成され、大規模災害時の迅速な救援・救助、復旧・復興が可能に</u>

◆津波浸水区域



資料: 津波浸水想定(国土数値情報)



資料: 中部版「くしの歯作戦」(令和2年6月改訂版)【道路啓開オペレーション計画】
 三重県緊急輸送道路ネットワーク計画(令和3年2月)